

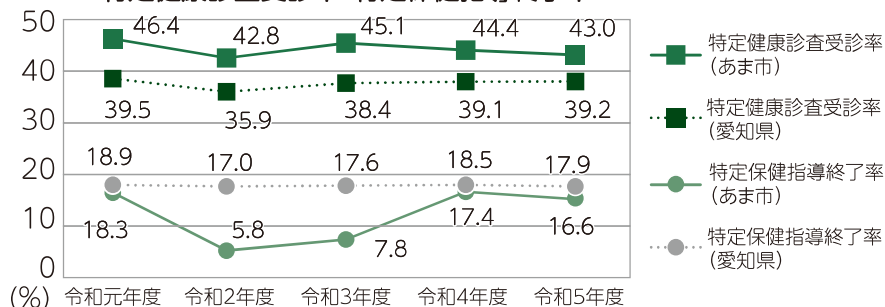
令和5年度あま市国民健康保険 特定健康診査等実施状況報告

あま市国民健康保険では、第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査・特定保健指導実施計画に基づき、国及び愛知県平均と比較してあま市の特定健康診査等実施状況の統計分析を行っています。

1. 特定健康診査受診率と特定保健指導終了率

令和5年度のあま市国民健康保険の特定健康診査受診率は43.0%で、近年はやや低下傾向です。受診習慣が定着している方々が後期高齢者医療へ移行していることが背景の一つと考えられ、比較的若い世代(40歳代)の受診率が低いことが課題です。特定保健指導終了率は16.6%で県平均を下回っています。特定保健指導の案内が届いた方はぜひご利用ください。

特定健康診査受診率・特定保健指導終了率



→課題に対する取組み

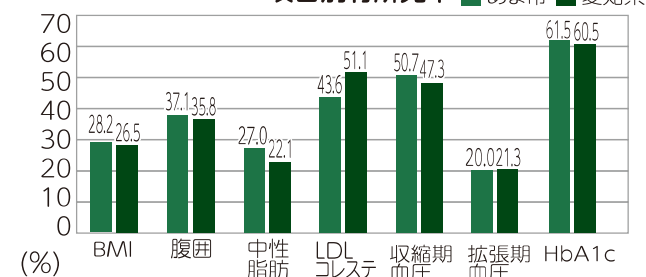
- ・国保三十歳代健診
36～39歳を対象とした健診を実施し、年1回の健診受診の習慣化を図ります。
- ・特定保健指導利用勧奨
対象者へ過去の健診結果から健康課題を可視化したシートを提供し、健康意識の向上を図ります。

2. 項目別有所見率と患者千人当たり糖尿病合併症患者数

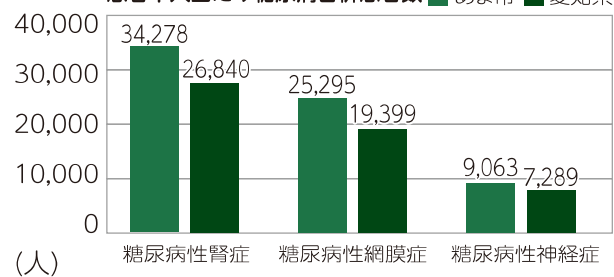
令和5年度の項目別有所見率(健診結果の数値が基準値外の方の割合)をみると、血糖の値であるHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)、収縮期血圧が高い方が多く、約半数の方が基準値を超えていることが分かります。県平均と比較すると、あま市はBMI、腹囲、中性脂肪、収縮期血圧、HbA1cが高くなっています。

また、糖尿病に着目すると、患者千人当たり糖尿病合併症患者数(糖尿病患者のうち合併症を発症している方の割合)は、腎症・網膜症・神経症の三大合併症すべてにおいて大幅に県平均を超えています。

項目別有所見率



患者千人当たり糖尿病合併症患者数



・早期介入による保健指導事業

糖尿病予備群の対象者に保健指導(自己血糖測定を行う体験型の教室など)を実施し、生活習慣改善の動機付けを促すことで、糖尿病の発症を予防します。

・医療受診勧奨事業

糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病のリスクを有する方に対して医療機関への受診を促し、疾病の早期発見及び重症化を予防します。

・糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病の重症度や医療機関の受診状況に応じて、情報提供・受診勧奨・保健指導を行い、重症化リスクが高い方の腎不全・人工透析への移行を予防します。

問合先 保険医療課(保健事業グループ) ☎462・6683 FAX443・3555

虐待の相談・通報はこちらへ

児童虐待 ☎444・3173(子ども福祉課)または ☎189(児童相談所全国共通ダイヤル、24時間対応)

障がい者虐待 ☎485・5980(障がい福祉課)

高齢者虐待 ☎444・3141(高齢福祉課)

※市役所は平日午前8時30分～午後5時15分(夜間・休日は時間外窓口につながります)

※FAX番号 443・2571(共通)※メールアドレス gyakubou@city.ama.lg.jp